

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

平成 31 年 4 月 7 日

1級受検番号 NO 03F1620105 氏 名 0.Y (神奈川県在住)

■ 1 級技能士を目指したきっかけ
2級技能士を取得して数年が経ち、改めてキャリアコンサルタントとしての知識や技能を深めたいと思い、その目標の1つとして資格取得を位置付けて勉強を始めました。自己流になりつつある自分の面談スタイルを見つめ直す機会にもしたいと思っていました。
■ 当初の勉強法
GW明けぐらいから計画的に勉強を進めていきました。初めてのチャレンジでしたので、まずは過去問を解いて自分の現状の実力を把握しました。その上で弱い部分を補う勉強の進め方を計画しました。
■ 合格のきっかけ
学科は過去問をベースに、単純な暗記が難しくなってきたので、自分が納得できるまで関連する内容まで広げて勉強しました。論述も面接も自分なりの指導の形やパターンを作り上げて、緊張の中でも実力が発揮できるように、書くこと、面接を行う機会を出来るだけ多く持つことを心掛けました。体に覚えさせるイメージに近いです。
■ 学科試験の勉強
しばらく学科の学びから離れていましたので、過去問を標準、2級、1級と解き直し、弱い分野を認識して補うように学び直しを進めました。法律関係や最新のデータ把握は苦手意識もあり難しかったです。過去で取り上げた法律や参照データの最新版を確認するようにしました。
■ 論述試験対策
論述は過去問の必須と選択3つを数年分解きました。選択3つと取り組むことは実技でも役に立つため、得意分野に絞り込まずに取り組みました。過去問を通じて、CL視点の問題点、CC視点の問題点、指導者視点の問題点を整理しながら、パターンを作りました。
■ 面接試験対策
自分なりの指導の流れを作り上げながら、学科試験後に1級技能士の会の下記講座を受講しました。 12月「1級ケース分析 面接試験対策 1日講座」 1月「本番さながら趣味レーション 1級面談試験対策 個別指導レッスン」 出来るだけ、初めての方や初めての場で面談を行う機会を作り、緊張に慣れるようにしました。他の方の面談の進め方や講師の方のコメントは毎回新鮮でした。
■ 受検される方へメッセージ
受検を考えた時に、結果データから生半可な気持ちでは難しいと強く感じ、まずは悔いのないように1年取り組もうと考えました。合格率は低いですし、何が正解なのか論述、実技は掘めず悩みました。しかし、勉強を始めたことで、日頃の面談業務にも変化を感じました。面談の流れを冷静に振り返る視点を持つようになりました。学び続けることに意味があると実感しました。試験という緊張の中で、出来るだけ冷静を保ちつつ、実力が発揮できるように頑張ってください。